

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 15 日

事務事業名		ふるさと応援寄附金事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	060501000055
						単独/補助	単独		025101
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	ヤマザクラ課
総合計画の施策名		0605 健全な財政運営の推進						課長名	
政策名		06 みんなで築く自治のまちづくり						グループ	ふるさと納税推進室
施策名		05 健全な財政運営の推進						担当者名	
手段名		01 ①計画的な財政運営の推進							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	01	04	00	ふるさと応援寄附金事業		
法令根拠	桜川市ふるさと応援寄附金条例						単年度繰返し (平成20年度~)		
							期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>「生まれ故郷」や「かつて住んでいた、または訪れたことがあるゆかりのある地」など、桜川市を愛する方から広く寄付を募り、これを財源として各種事業を実施する。</p> <p>寄附金は以下の事業に充当する。</p> <p>寄附者には寄附金控除の制度が適用され、市外からの寄附者には返礼品が贈られる。</p> <p>寄附金額向上のため、返礼品の拡充やポータルサイト等でのPRが重要である。</p> <p>※充当される事業</p> <p>①自然環境保全及び景観の維持、再生に関する事業 ②市民によるまちづくり活動の推進に関する事業③産業の振興及び魅力ある観光地づくりに関する事業④教育、文化、スポーツ活動の充実に関する事業 ⑤市民の健康増進及び医療</p>	<ul style="list-style-type: none"> 寄附金の受領に伴う事務処理 各ポータルサイトごとの対応となり、入金・支払に関する事務処理 中間管理委託事業者との連携 ポータルサイトに掲載する情報の共有及び戦略について連携 受領証明書・ワンストップ特例申請に係る事務処理 広報戦略 返礼品情報発信、プロモーション等の実施 返礼品拡充 新規返礼品の開拓・開発、既存事業者の返礼品内容見直し

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 寄附金の受領に伴う事務処理 中間管理委託事業者との連携 受領証明書・ワンストップ特例申請に係る事務処理 広報戦略 返礼品拡充 	寄附の受領件数	件	9,290.00	26,508.00	33,000.00	45,000.00	66,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
寄附者	寄附者	人	9,290.00	26,508.00	33,000.00	45,000.00	66,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
ふるさとに対する思いを実現化し、多様な人々の参加による個性豊かな活力あるふるさとづくりに資することを目的とする。	寄附金額	千円	143,043.00	359,301.00	500,000.00	700,000.00	1,000,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	期間限定総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	40,000	300,000	500,000			
	一般財源	千円	173,776	236,766	249,973			
	事業費計 (A)	千円	213,776	536,766	749,973			
正規職員従事人数	人	1.00人	3.00人	3.00人				

事業費の内訳	05年度事業費 実績 (千円)				06年度事業費 予算 (千円)			
	01 報酬	1,523			01 報酬	1,941		
03 職員手当等	241			03 職員手当等	707			
07 報償費	82,969			07 報償費	120,000			
08 旅費	47			08 旅費	91			
10 需用費	283			10 需用費	330			
11 役務費	9,209			11 役務費	15,900			
12 委託料	46,709			12 委託料	63,504			
13 使用料及び賃借料	29,015			13 使用料及び賃借料	47,500			
24 積立金	359,301			24 積立金	500,000			
25 寄附金	7,469							
	合計		536,766		合計		749,973	

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
	ふるさと納税事業の推進	ふるさと納税事業の推進	ふるさと納税事業の推進

事務事業名	ふるさと応援寄附金事業	事務事業No.	60501000055	所属課	ヤマザクラ課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成20年4月に公布された「地方税法等の一部を改正する法律」により、個人住民税の寄附金税制が大幅に拡充される形で導入され、全国的に実施されている。 令和2年度よりヤマザクラ課に事務移管されてから、委託事業者の変更、ポータルサイトの拡充等取り組み、事業拡充した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市の財源確保や特産品PRにきわめて有効な事業であり、寄附額の向上を求められている。 また、返礼品提供事業者からも売上向上に直結する事業であることから、拡充を求められている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 寄附金は貴重な財源であり、市の事業遂行の一助となっている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 全国的にほぼ全ての市町村で行われている事務事業である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 返礼品の見直し及びプロモーションの充実により、寄附金額の増加が期待できる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 自主財源を増加させるため必要な事業である。 また、地域事業者の販路となっているため重要である。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 返礼品費用や委託料、手数料等は寄附額に応じて増加するため、削減の余地がない。 但し、配送やポータルサイトなど、現行事業者以外の事業者のサービス内容や経費は引き続き探っていく。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内事業者に広く返礼品提案の声をしているため公平である。 また、寄付者に対して相当の返礼品を贈呈しているため適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 令和5年度には、PR強化策として、ポータルサイトを11サイトに拡充し、また、返礼品数を約500品から900品へ増やして返礼品を充実させたことで、寄附額が約3億5千万円に増加した。 一方、令和5年10月からの経費基準厳格化に対し、対応が後手に回ったため基準の達成が困難な状況となり、ルールを遵守するための取り組みが必要である。																								
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加					○										
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
				○																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 令和5年10月からの経費基準厳格化など、ふるさと納税制度の見直しが行われることがあるが、ルールを遵守するため迅速な運用見直しが求められている。常に、総務省からの情報には注意し、前もって対処できることは進めていく必要がある。																										
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果		①																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/>	